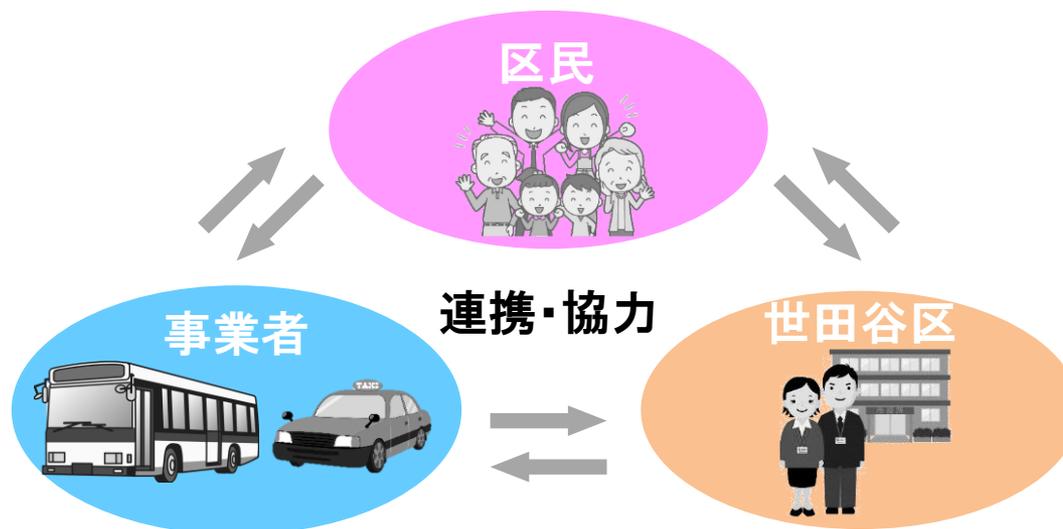


1. 協議会の開催について

1 なぜ住民主体が重要なのか

- 公共交通は、本当に必要とされ、利用される地域に運行しないと「空気を運ぶバス」になり、**運行を継続することが困難**となる。
- **地域の問題を最もよく知る地域住民の方が公共交通の検討に主体的に取り組み、地域の移動ニーズに即したコミュニティ交通を作ることができる。**
- **自分たちが作ったコミュニティ交通の積極的な利用や利用促進活動等を行い、守り育てあげていくことが、地域の活性化にも繋がっていく。**



2 これまでの取組み

●勉強会

地域の皆様に様々なご意見をいただき、以下の事に取り組んできました。



- 公共交通に関する現状と課題の整理
- 移動ニーズの検討
- 運行サービス（車両、運行目的、運行日、料金等）の検討
- 運行ルート、運行間隔の検討



検討結果に対し、意思を決定する組織（協議会）が必要

3 協議会の設立

●背景

- 勉強会等を通じて、地域の皆様と検討してきた事業モデル案に対して、意思決定が必要。
- 区と共に実効性のある運行計画を策定するための検討・協議を行う場が必要。

●目的

コミュニティ交通の導入に関する活動を行う。

4 メンバーと主な役割

●協議会のメンバー

- | | | |
|---------------|-----|-----|
| ・ 砧町町会 | 会長 | 他3名 |
| ・ 法人格砧町自治会 | 会長 | 他1名 |
| ・ 祖師谷南商店街振興組合 | 理事長 | 他2名 |

●実証運行時の主な役割

世田谷区

- ・ 需要調査実施・分析
- ・ 運行計画（案）の作成
- ・ 沿道合意、乗降場所の設置交渉・協力
- ・ 事業者選定・運行委託
- ・ 交通管理者、運輸局等との調整

など

協議会

- ・ 運行ルート、乗降場所の検討
- ・ 運行ダイヤの検討
- ・ 沿道合意、乗降場所の設置交渉・協力
- ・ 利用啓発活動
- ・ サポーター企業の選定・交渉

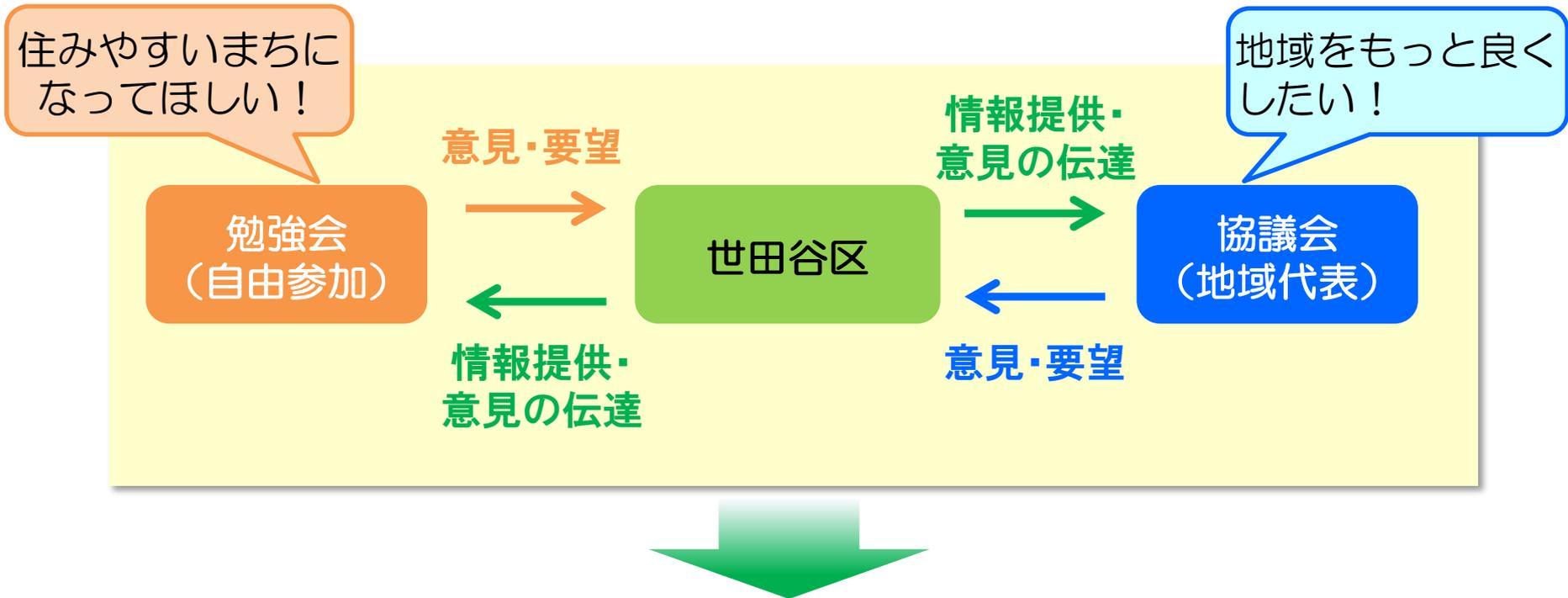
など

交通事業者

- ・ 運行計画について意見
- ・ 実証運行計画申請
- ・ 運行実施
- ・ 利用人数、運賃収入等の記録

など

5 勉強会・協議会・区の関係性



地域の皆様の意見を反映させた運行計画の策定

三者が協力し、より良い運行計画の策定を目指す

6 開催結果

- 開催日：平成30年10月2日（火）
- 時間：19：00～21：15
- 場所：砦まちづくりセンター 活動フロア
- 議事内容：
 1. 協議会の設立について
 2. 第5回勉強会の結果について
 3. 交通管理者協議の進捗について
 4. サポーター制度等について
 5. 今後のスケジュール

6 開催結果

● 主な協議内容・ご意見

< 協議会の設立について >

- 公共交通不便といった言葉ではなく、プラスの方向になる名称を考えたほうが良い。
- 本取り組みについて、公共交通不便地域対策だけに留めず、地域活性化の視点などを検討に加えるべきである。

< 第5回勉強会の結果について >

- 勉強会の意見を踏まえ、協議会での検討を積み重ねることで、双方の一体感を生み出し、醸成することが大事。
- 商店街等のイベント（ハロウィン）への対応も考えていく。
- 車両の大きさを踏まえると、乗りこぼし等の課題がある。

6 開催結果

●主な協議内容・ご意見

<交通管理者協議の進捗について>

- ・ 関東中央病院へ直接アクセスしないルートは、地区内のどこからでも乗車可能であり、通行間隔が短く、比較的利便性が高い。
- ・ バス停設置交渉については、区と協議会で協力し、進める。

<サポーター制度等について>

- ・ サポーターを鑑みて、停留所箇所（バス停に店名をつける等）を検討してみてもどうか。
- ・ 継続的にコミュニティ交通を運行していくためには、地域の方々の協力（協賛金、バス停設置交渉、積極的利用）が必須。

<その他>

- ・ バスの愛称等の募集の検討による地域の活性化。